

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カルティボファースト		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 6日		2025年 11月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 11月 6日		2025年 11月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの心身や発達状況の様子に対して、保護者様との共通理解、連携が取れている。	・モニタリング時期だけではなく、日ごろから気になる様子があれば保護者様に連絡し、ご自宅や園での様子も聞かせていただいている。子どもを取り巻く状況に合わせ今必要な対応を考え、その時々に応じた子どもへの関わり方を職員間で共有している。	・引き続き子どもの心身の状態や変化に気を付けながら支援を行い、気になる点がある際には伝えるようにしていく。保育園にお迎えに行き、帰りもまた保育園へお送りするお子さまの場合、保護者様とお話をする機会がなかなか持てないのをごまめにLINE等でご様子を聞く機会を持つよう気を付ける。
2	・個別支援計画書を作る際には、保護者様の要望を丁寧に聞き取り、専門支援員と連携を取りながら本人の成長を促せる目標を立てている。障害受容が進んでいない保護者様の心の面のサポートにも時間を割いている。	・子どもが所属している園と連携を取り、本人の姿を総合的に捉え、個別支援計画書に反映させるようにしている。本人に合った環境での就学をサポートできるよう、情報提供をしたり園や就学予定の学校とも連携を取ったりしている。	・現在の園や学校での支援体制がどのようなものか、保護者の方々にご案内できるよう、情報収集をする機会を持っていく。
3	・様々な種類のプログラムを実施している。	・プログラムは曜日ごとの固定はせず、様々な体験や経験を積むことができるように工夫している。またプログラム名が同じものでも内容は毎月変更するようにしている。 ・幅広い年齢層の子どものそれぞれの発達段階に合わせたプログラムを考え、どの子どもたちの発達も促せるよう工夫している。	・同法人内の事業所との合同プログラムを実施する機会を増やし、固定化された友だちとの関わりだけでなく、幅広い年代や新しいお友だちとの関わりを持てるように工夫をする。 ・保護者様からの意見を募り、要望に合わせた新規プログラムの作成を実施していく。
4	・個別の専門支援を実施している。	・作業療法士と臨床心理士の専門支援員が個別の評価と計画を立て、それに基づいた支援を行っている。集団ではなく個別での時間を設けているため、それぞれのお子さまに必要な基本動作、知識・技能の習得をより集中的に促すことができている。また、日々の支援内容にも専門性を反映させることができ、子どもの発達を多角的にサポートすることができている。	・個別の専門支援を行っている療育時間内に保護者様に見学に来ていただく等、専門支援員が行っている療育内容をより多くの保護者様に知っていただけるような取り組みを取り入れ、子どもの発達段階に応じたきめ細やかな支援を行っているという信頼感を高めてもらう。
5	・新版K式発達検査を行っている。	・保護者様の希望がある場合や、こちらから必要と思われるタイミングで新版K式発達検査を行っている。検査を行うことでその子の発達の偏りや遅れを把握し、診断を受ける際の指標として活用していただいたり、今後の療育・支援計画立案の基礎情報として活用したりできている。	・発達検査の目的や必要性についてご存じない保護者様も多いため、その説明についても丁寧にを行った上で、お子さまにとって効果的な支援に繋げるため引き続き受検の案内をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の具体的な説明や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていなかった。	・個別支援計画書のモニタリング時に悩み等の相談がある場合にはペアレントトレーニングとしての考え方や支援方法の提案を行っていたが、「ペアレントトレーニング」という言葉は使用していなかった為、わかりにくさがあった。 ・研修会等の開催はしておらず、情報提供は稀にしていた程度になってしまっていた。	・相談等があった場合にはペアレントトレーニングとしての考え方や支援方法をお伝えしてくと共に、時間や状況を考えながら研修会等の開催を検討する。また保護者様が参加できるような外部の研修会など情報を探し、積極的に発信を行う。
2	・保護者会、保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベント等が開催されておらず、閉鎖的になってしまっていた。	・保護者会等は時間的、業務的な問題があり、開催することができていなかった。季節に合わせたイベント(クリスマス会等)は事業所内では実施していたものの、指導員の配置状況から参加できる形では行っていなかった。	・保護者会等は児童が登所していない時間帯を使い、開催を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 カルティボファースト

公表日 2026年1月29日

利用児 利用家庭数：23家庭 利用児童数：
童数 26人

回収数 22

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	2	・広々とした空間です。 ・少人数なのでできていると思います。	・まだ体の動きがおぼつかなく、「走らない」の約束を守れる発達年齢ではない未就園のお子さまを受け入れる際は、机を部屋の端に寄せるなど活動スペースを広げ、環境調整している。 ・定員10名に対して十分なスペースを確保しており、運動プログラムも問題なく行えている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	2	・先生方の実感は分かりませんが、複数の人員体制に安心感を覚えます。 ・よく見てもらっていると思います。	保育士、児童指導員と経験豊富な職員を配置している。専門的支援員として臨床心理士、作業療法士を配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	3	本人がすすいと活動しているのを見ております。	視覚優位の児童にわかりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせたりして効果を上げている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	2	・いつもきれいで整っていると思います。 ・子どもに合わせて手洗いうがいもできるようにしていいと思います。	清掃は毎日行っており、子どもの入れ替え時には使用した物を除菌するようにしている。スタッフ、子ども達が外から室内に入って来た時は、除菌手洗い、うがいをしっかりするように指導している。ペーパータオルの使用、アルコール消毒の徹底を行っている。換気も定期的に行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の好きなことや苦手なことを考えてくださっています。 ・個々を見て合った支援をしてもらえていると思います。 ・個別専門支援の枠がありOTや臨床心理士の療育が受けられている。 	事業所として「専門性」は長年、子どもと関わってきている指導員の考えや支援方法を指すと考えている。支援に関しては定期的にMTGを行い、前回の様子や今の状況、個別支援計画書の内容を確認し、適切な支援を実施できるようにしている。また臨床心理士・作業療法士を配置しており、より専門的な療育ができるように取り組んでいる。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	0	個別・集団ともに合っていると思います。	公表しているプログラムと実施プログラムは合わせるようにしている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的なご意見を伺うことができ、勉強になります。 ・面談もして子どもに合わせた支援計画を作ってくれています。 ・よく理解して頂いていると思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日の様子を記録をしスタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談（モニタリング）をしてから支援計画書を作成している。支援の結果から評価表も作成し、保護者様に説明をするようにしている。 ・今後も、引き続き取り組む。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	0	様々な課題に応じて支援をしてくださっています。	個別支援計画書はガイドラインに合わせ、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の記載を行っている。支援目標はモニタリングの上、児発管が作成した内容を元に指導員を含めて話し合いを行い決定している。支援内容は誰が見ても理解できる内容になるよう工夫をしている。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	0	本人に合った計画の元、見てくださっています。	個別支援計画書の内容を子ども達が登所する前に再確認し、適切な支援が行われているか児発管、指導員が常に意見を交換し、最適な支援の実施ができるようにしている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのプログラムがあり、飽きることなく楽しめています。 ・様々な活動をしています。 ・毎回いろんな活動ができて楽しめていると思います。 ・毎月の予定表をもらい、毎日違う取り組みを行っていて、保護者も子どもに合わせて選びやすい。 	活動プログラムは指導員間で常に話し合い、見直し、マンネリ化しないように新しいアイデアを提案できる体制を取っている。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物や外での活動もあり、他の人との関わりも多少あると思います。 ・違う園の子と事業所内で関わる事ができていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はお買い物体験を実施し、事業所以外の人との関わりを持つことが出来るようにしている。今後機会があれば地域の活動に参加していくようにする。 ・イベントプログラムでカルティボ内別事業所との交流を行っており、小学生から高校3年生まで幅広い年齢層の利用者同士と関わる機会を持つことができています。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0		運営規程、支援プログラム、利用者負担等についてはご契約時に丁寧に説明をするよう心掛けている。またプログラムの実費負担については毎月の予定用やお便りを通して事前に知らせている。
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0		支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を心がけており、内容の変更があれば随時行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	1	6		保護者様から相談依頼があった際には時間を設け、個別に対応している。その際にはご自宅で出来る事、声のかけ方等をお伝えし、家庭でも出来る支援の方法、考え方をお話している。ご希望があれば2025年度からは専門的個別支援において保護者も参加できるような体制を整えている。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの困りごとに気づいて伝えてもらえて助かっています。 ・日頃から連絡帳なのですが“今日の事”を直接教えてくださっています。ありがとうございます。 ・よく伝えてもらえています。 ・自宅への送迎時にその日行った内容やどんな様子だったかを伝えてくれる。 	子どもの発達状況や課題は、日ごろから保護者との共通理解をもつために連絡帳、電話、メール、LINE、送迎時を通して徹底している。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しくお話をうかがえ、助かります。 ・必要があれば時間を作って面談や相談もしていただいています。 	モニタリング時に必要があれば実施している。また希望があれば日時を設定し、対応している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	0	家では見せない姿についてうかがい、びっくりした時もポジティブに助言をくださいます。	保護者の思い、また子どもの様子や状況を見て、今はどうすることがよいかを考えて支援をしている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	7	9	カルティボネクストさんのイベントに参加できたので兄弟で通うことで繋がりができると感じた。	本年度は実施できなかったが2026年度は茶話会等を通して保護者同士の交流の機会を設けるようにしたいと考えている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	0	0		保護者からの子育て悩みに対する相談へは適切に対応できるよう心掛けており、必要な助言はスタッフと情報共有を行っている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	0	0	・よく伝えてくれています。 ・事業所とLINEで繋がっていて何かあればすぐ連絡が取れるようになっている。	基本は連絡帳でのお知らせになるが、即時知らせるべき事柄は送迎時に情報を共有して意志の疎通を図るようにしている。また電話、メールやLINEのチェックを日々行うようにしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1	0	0	月に一度、通信をいただき事業所の様子などがよくわかるよう発信されています。	毎月の会報はLINEまたは用紙で行い、活動概要や行事予定、連絡体制等はメールやLINE、電話、訪問時で的確に情報発信できるようにしている。 SNSを用い、活動内容をよりイメージできるように発信内容を工夫し、発信回数も増やしていきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	0		個人情報保護法については定期的に研修を行い、日々の業務、仕事以外での個人情報の保護
非常時等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	0	0	1	最初にしっかりしたマニュアルの説明を受けられています。	各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。各マニュアルについては計画的に研修と訓練および見直しをしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	3	訓練は少し怖がることもありますが大事なことをやっていただけています。	消防署の行っている救命救急の研修には定期的に参加している。また避難訓練は火災、防災、水災を年に2回以上行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	0	0	0		プログラムを実施する際には不要な机等は片付け、怪我等に繋がらないよう留意している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	0	0	0	小さなことでも伝えてくれています。	頭部を打った場合や事故、大けがの場合は保護者様にすぐに電話を行い、伝える体制を整えている。また軽傷については送迎時に経緯と怪我の具合を説明する体制としている。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0	・特別に機嫌が悪い時以外、すぐに保護者の手を離しお部屋へ進んで入っていきます。 ・嫌がることなく行けています。	子どもが安心感を持てるように笑顔を心がけて指導員全員が関わるようにしている。子どもの意見は出来る限り否定をせず、ゆっくりと話をしながら納得してもらえよう対応している。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	・足取り軽く向かいます。準備～出発の時も機嫌よく支度等しています。 ・今日は何するかなど毎回楽しみにして行っています。 ・カルティボのおかげで幼稚園にも頑張っ て通えています。	プログラムにより好き嫌いがあるかもしれないが、指導員も一緒に参加し、みんなで楽しめるよう工夫してる。また子ども達から楽しかったプログラムを聞いて、予定に反映するようにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0	本人・保護者ともたくさんのご意見を勉強させていただきます。ありがとうございます。・とても感謝しています。・カルティボのおかげでとても成長していると思っています！	引き続き皆さまに満足してご利用していただけるよう、日々話し合いやPDCAサイクルの実施をおこない、スキルアップしていくことができるようにしている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 カルティボファースト

公表日 2026年1月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・普段は問題ないが、活動内容によっては手狭になってしまうため、チームで分けて活動したり空間を分けて環境を整えたりしている。	・特になし。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・安全に療育を進められるよう、その日のお子さまの支援の必要性の高さに応じて人員を手厚く配置する努力をしている。 ・基準配置は守りつつ、お子様二人に対して少なくとも指導員が一人付くように配置している。 ・指導員同士の声掛けにより、安全を確保している。	・お子様の状況により、一対一で付かないといけない場合があり、指導員が不足する時間帯がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・視覚優位の児童に分かりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせるようにしている。 ・相談室や事務室には季節に応じた必要事項の張り出しを行い、注意喚起を行っている。	・特になし。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・毎日する掃除をリスト化し、どの職員でも同じように清掃できるよう工夫している。 ・掃除を引き継ぎしやすいよう、チェックリストを作成している。	・特になし。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・落ち着いて過ごしたい子がいる場合、相談室を使える部屋として用意している。	・特になし。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	昼礼の時間を使って個別支援計画に対するお子さまの様子や振り返り、次の課題など見直すことができている。また、業務改善についてはPDCAサイクルに基づき話し合いができるようにしている。	・特になし。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者様向けの評価表を配布し、広く意見を求めている。意見の記載があった場合、話し合いを行い業務改善に繋げている。	・特になし。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・半年に一回、代表面談を実施し、指導員の意見を聞き、業務改善につなげている。 ・日ごろから意見交換しやすい雰囲気を作り、意見があるたび改善策を考えている。	・特になし。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	・第三者評価は現在行っていないが、保護者様のご意見を聞きつつ、必要があれば設置していく。	・特になし。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・内部研修を定期的に行うとともに、外部の研修についても告知し研修できる体制を整えている。	・特になし。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・専門職の視点を取り入れ、より適切な支援プログラムを実施している。	・特になし。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・利用日のお子様の様子を記録し、スタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談（モニタリング）をしてから支援計画書を作成している。	・特になし。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・個別支援計画書作成にあたり、ミーティングを実施しているが、参加できない指導員に対しては個別に話を伺うようにしている。	・全ての職員が意見を出せる場を設けられるのが理想だが、なかなか機会は持ていない。（一部職員になっている。）
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・2025年度以降は受入れ時間の変更により十分に昼礼時間を確保できるようにしている。 ・個別支援計画書の内容を昼礼で再確認し適切な支援を実施している。また児発管、指導員が常に意見を交換している。 ・引き続き、子ども達の成長を注意深く観察していく。	・特になし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・子どもの社会性の発達状況は、標準化されたツールの項目を参考にしてアセスメントを行っている。 ・個別でのやり取りで理解度を評価したり、子ども同士のやり取りから人間関係のあり方を観察している。子どもの能力や生活スキルについては、発達評価スケール等を用いて領域ごとに整理するよう努めている。	・特になし。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・モニタリングを通して保護者様からの希望と事業所側の考えを伝え、支援計画書を作成している。また「本人支援」「家族支援」「移行支援」を踏まえた5領域を踏まえた個別支援計画書の作成に努めている。	・特になし。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・担当職員間で話し合い、活動プログラムを立案している。 ・スタッフからの意見や利用者の現在の興味を取り入れて個別対応やチーム全体でできる楽しく参加できる活動プログラムを立案している。	・特になし。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・活動プログラムは常に見直し、マンネリ化しないように新しいアイデアを提案できる体制を取っている。 ・利用する曜日によってプログラムが偏らないよう、どの曜日も様々なプログラムに参加できるよう工夫している。	・特になし。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・子どもの状況に合わせて個別プログラムを実施しつつ、集団活動を行っている。また発達状況を常に見極め記録し、個別と集団活動とその記録をスタッフミーティングで検討し個別支援計画書の作成を行っている。	・特になし。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼、昼礼に十分に時間が取れる日には、当日利用予定の子どもたちの個別支援計画書の内容を確認し、それぞれの目標にあった支援が実施出来るようにしている。役割分担についてはやむを得ず担当を外れる場合は声掛けして引き継ぐ体制で連携を取っている。	・特になし。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・就業時間の関係から支援終了後の打ち合わせは難しい為、業務日誌内に気づいた事を記載する欄を設けている。次回利用日の受け入れ前ミーティングで情報共有をしている。 ・その日のうちに共有しておかねばならない重要事項については必ず引継ぎを行うようにしている。	・「当日にその時間がない・支援終了後に時間を取る余裕がない。」の意見がある。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・業務日誌に記録を行う欄に特筆すべき出来事を記載している。受け入れ前のミーティングで直近の出来事を話し合い、支援内容の検証、改善を常に行っている。	・特になし。
23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的なモニタリングは最低6か月に1回行っているが、支援内容の変更がある場合には保護者様の意見を聞きつつ、随時見直しを行っている。	・特になし。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・会議はほとんど実施できていないが、相談支援事業所のサービス担当者様と電話や面談にて情報の共有をおこなっている。その際は児発管や担当指導員が参加するようにしている。	・特になし。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・保護者様からの要望があった際や、こちらが必要と感じた際は各機関と速やかに連携を行っている。	・特になし。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・保護者様からの依頼があれば実施している。	・特になし。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	保護者から要望があれば小学校へ提出するサポートブックや「つなぐシート」の内容を共に考えアドバイスを行ったりしている。	・特になし。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	・必要に応じて連携を行っていく。	・特になし。
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	1	4	・地域のイベント等に参加し、事業所以外の人との関わりを持つ機会は設けている。 ・今後必要に応じて実施していく。	・個人情報の観点から、難しいことが多い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・子どもの発達の状況や課題は、日ごろから保護者様との共通理解をもつために連絡帳、電話、メール、送迎時を通して行っている。 ・今後も保護者の方との連絡、報告など共通理解を得るため、徹底する。	・保育園に送るお子様等、ご利用日に直接保護者様とお話することができない場合がある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	・保護者様から相談依頼があった際には時間を設け、個別に対応している。その際にはご自宅で出来る事、声のかけ方等をお伝えし、家庭でも出来る支援の方法、考え方をお話している。 ・今年度から希望があれば保護者も参加できる個別の専門的支援を行っている。	モニタリング時にお子さまへの対応方法等アドバイスはしているが、プログラムや研修に参加できる機会は設けられていない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・保護者に対して支援内容と利用者負担については見学、モニタリング、重要事項説明時、契約書締結時に丁寧な説明を行っている。 ・ご利用者の実費負担については毎月の手紙で連絡している。	・特になし。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・モニタリング時に必ず保護者様の意見を伺うとともに、こちらから見たこどもの最善の利益とのズレがあった際は保護者様の理解が進むようお話をしている。	・特になし。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・個別支援計画書が出来上がった際には児発管が保護者様に説明するようにしている。	・特になし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	・要望があったときは実施している。また個別支援計画書更新時のモニタリングにて話を聞かせていただき、助言するようにしている。	・特になし。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	・本年度は実施できなかったが2026年度は茶話会等を通して保護者同士の交流の機会を設けるようにしたいと考えている。	・本年度は実施できなかった。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・契約時に苦情・要望の受付窓口について説明している。 ・申し入れがあった際には迅速に対応している。	・特になし。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・毎月の会報はLINEまたは用紙で行い、活動概要や行事予定、連絡体制等はLINE、電話、訪問時で的確に情報発信できるようにしている。 また今年度はあまりできなかったが、SNSを用い、活動内容をよりイメージできるように発信内容を工夫し、発信回数も増やしていきたい。	SNSの更新の時間がない
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報取り扱いについては年1回必ず研修を行っている。 ・連絡帳に載せる写真に他のご利用者様の情報が映り込まないように、個人情報が載っているものを隠すようにしている。	・特になし。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・絵カードを用い、子どもが意思表示しやすい状況を作っている。 ・保護者様に対しては電話連絡だけでなく、メールやLINEを使用しながら文章でもお伝えするようにしている。	・特になし。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・機会があれば検討していく。	・個人情報の観点から、現状は行っていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。各マニュアルについては計画的に研修と訓練および見直しをしている。	・特になし。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・消防署に依頼し、救命救急の研修を実施している。また避難訓練は火災、地震、水害を想定したものを定期的に行っている。 ・実施した訓練についてはお手紙等でお知らせしていく。	・特になし。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時のフェイスシートにてお子さまの状況を確認している。 ・お迎え時、保護者様に会うことができる場合は体調等を伺うようにしている。	・特になし。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・現在のところ、食物アレルギーで配慮を必要とするお子さまは利用していないが、今後とも契約時に状況を確認し、職員間で共有を徹底する。	・特になし。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・療育中、必ずドアは施錠している。 ・外出等、通常の療育と違う動きがある場合には事前に職員の配置検討や子どもへの説明を行っている。	・特になし。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	災害時の安全や行動の制止（安全のため）については伝えている。	・特になし。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・何かあった際には個人ファイルや業務日誌に記載し、回覧や声掛けを実施している。 ・ヒヤリハットへの記載を確実に実施していく。	・特になし。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・月始めに虐待防止委員会、身体拘束防止委員会を開催し、虐待や身体拘束の有無、それに連なる事項について話し合いを行っている。 ・全事業所合同で委員会を開催しており、情報の共有を行うとともに、意識を高めるようにしている。	・特になし。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・現状身体拘束をしていない。気になる点があった際には保護者様と相談し、身体拘束をしなくても解決できる方法を模索している。 ・身体拘束には当たらないが、安全を考慮するための行動の制止について同意書を作成し、保護者様の了承を得ている。	・特になし。